

日本学生支援機構 令和3年度 障害学生支援専門テーマ別セミナー  
シンポジウム「Withコロナ・Postコロナにおける障害学生支援」  
<話題提供>

## コーディネーターから見た コロナ禍における障害学生支援の変化



明治学院大学学生サポートセンター  
コーディネーター 富岡 美紀子

<https://www.meijigakuin.ac.jp/campuslife/campuslife/support/>

# 大学の状況



- 2020年3月中旬 : 入学式・学科ガイダンス等の動画配信 決定
  - 2020年3月下旬 : 授業開始 4月20日に決定  
※その後、春学期はすべてオンライン授業に
- 【緊急事態宣言 2020年4月7日～5月25日】
- 2020年4月8日～6月30日 : 窓口（対面）休止、入構禁止  
※窓口への問合せはメールかお問合せフォーム
  - 2020年7月1日～ : 入構の一部緩和 ※窓口は事前予約制
  - 2020年 夏 : 手洗い場増設、アルコール消毒・体温計等の設置
  - 2020年度 秋学期 : 対面授業（同時配信併用）開始、授業時間割変更
  - 2021年度 春学期 : 対面授業（同時配信併用）の増加

2021年1月から現在まで東京は、

ほぼ緊急事態宣言orまん延防止等重点措置が発令中

# 2020年度の支援



## 2020年春

- ・全構成員が手探り状態。刻々と変化する状況についていくので精いっぱい
- ・特に情報保障関連は、準備期間も短く、授業形式も把握しきれず、手配に戸惑う → 支援学生の活用に至らず、主にテクニカルスタッフでやりくり
- ・教職員・学生とも、主な最初のコミュニケーションツールは「メール」に
- ・スタッフの校舎間移動を最小限に（+休んだ際の対処法共有） → 継続中

## 2020年夏／2021年春

- ・WEBオープンキャンパスのため、配信映像に字幕付与  
→ WEB参加の容易さからか、オープンキャンパスへの支援申請減少
- ・久々に来室する学生たちに、コミュニケーション力の低下を感じることも

## 2020年秋

- ・対面授業（同時配信併用）等により登校する学生は、対面面談に  
→ 緊急事態宣言中や学生の状況により、適宜TELやビデオ通話に変更

# 登校できなくなったことで、支援を厚くした側面

## 授業前後の余白時間の喪失

- ・教職員からの声かけが得られづらい
- ・学生からのコンタクトのしづらさ
- ・周囲の学生たちの何気ない会話からの情報が入りづらい 等

## 学生が周囲の視界に入ることによって得られた配慮の減少

## PC利用の増加による負担

- ・スピーカー音を聞き続けたり、画面を見続けなければならない
- ・顔出し・声出し・名前出しのプレッシャー
- ・LMSの使用方法が授業ごとに異なることによる見落とし
- ・LMSのポップアップ表示を読み上げソフトで読み上げることができない 等

## 生活リズムの乱れ

## コミュニケーション機会の減少

# 登校できなくなったことで、支援が不要or薄くなった側面



## 通学・移動負担の軽減

## 周囲の視線・雑音の軽減

## 人間関係やコミュニケーションによるストレス軽減

## PC利用の増加による利益

- ・ 課題や指示が、視覚情報化され、繰り返し確認可能に
- ・ データによる資料提供のため、レイアウト調整等が容易に
- ・ 筆記負担の減少
- ・ 体調のいい時間帯に取り組むことが可能（オンデマンド形式）
- ・ 難聴学生は、自分のPC調整で聞き取りが改善することも  
(&話者の口元が見やすい) 等

## インフォーマルなサポートが成立しやすい

受講の様子が見えることにより家族等の理解が得られやすい 等

# 2020年度を振り返って — 試行錯誤の1年 —

- 利用者数、相談件数（対面+TEL+ビデオ通話）は、ほぼ平年並み  
→圧倒的に対面での相談から、TEL・ビデオ通話・メールでの相談に
- 新入生等、支援につながっていない学生を把握しづらかった  
→そもそも「困っている」ことに気づかれづらい・気づけないことも
- 対面で会えず、顔もわからないままTELで支援を続けたことも
- 学生が来室しないことによる、支援者側のリアル感欠如に留意
- 学生たちは、より一層の情報処理やスケジュール管理能力が求められたことに加え、モチベーションの維持や気持ちの切り替えがうまくできず、苦闘することも  
→通常よりも雑談・確認・現実検討の時間を作るように
- この方法ならできる！と、卒業後の社会生活への手がかりを得た学生も

# 意図せず有効だった資源



## 留学等で海外にいる学生とのビデオ通話の使用経験

- ・ ZoomやTeams等での面談開始に、大きな抵抗感なく移行

## テクニカル・スタッフの増員

- ・ 視聴覚の情報保障を乗り切ることができた
- ・ オンラインでの支援学生養成も着手可能に

## 海外研修等のための遠隔情報保障ノウハウの蓄積

- ・ オンライン授業への切替についていくことができた

# 支援学生の養成・活用

2020年秋～

- ・オンラインでのノートテイク講座開始  
→オンライントレーニングシステムの稼働
- ・環境（ネットや機器、授業形態等）を選んで、支援学生たちに情報保障を依頼



	リアルタイム配信授業 (ZoomやTeams)	オンデマンド授業 (音声付PPTなど)	音声なし
自力での聞き取り ↑ 不可 ↓ 可能	<b>A : 遠隔パソコン ノートテイク (T-TAC Caption)</b>	<b>B : 文字起こし</b>	
	<b>C : 音声認識システム</b>		
	<b>D : 補聴援助システム 「Roger」</b>		
	サポートを使わずに補聴器や人工内耳で聞き取り → 受講		

# イベント①



@ハイブリット型



**交流会（2020年12月）**

※事前に感染予防対策について校医アドバイス受ける



**シューカツ講座（2021年6月）**

# イベント②



## @対面



ノートテイク講座 (2021年4月)

## @オンライン

内容：「見えない・見えづらい」学生に、目障りなかなか知ることができない、隣に落ちた学生生活(?)を語ってもらいましょう！

- × どうやって講義を受けているの？
- × 日常生活って？
- × お役立ちツールって？
- × 長期留学したら…？
- × COVID-19の影響は？
- × 学内や街で見かけたら？

疑問・質問も大歓迎です！！

「見えない・見えづらい学生の  
キャンパスライフ」  
(2021年5月)

2021年度も、  
これまでの経験を活かしつつ  
新たな支援のカタチを模索中…



ご清聴ありがとうございました